

町民海外派遣団報告

～団員たちの体験レポート

Vol.2

先月号に引き続き、八月十三日から二十五日までの十三日間派遣した第十一回緑町町民海外派遣団のオーストラリア体験報告をご紹介します。



▶線路でピース

大きな意味をもった海外派遣

広田中学校 元木 舞

この海外研修に参加してきて、参加前よりも精神的に大人になったと思います。さまざまな国の人々と触れ合っていて、世界がより身近に感じられるようになったと思います。今回、研修で訪れたオーストラリアでは、先住民であるアボリジニーについてよく

知ることができたとし、直接自身で体験することができたので、楽しみながら学ぶことができました。

また、ホームステイでは、普通の旅行では見られないものを見て、素晴らしい人間関係を築くことができ嬉しかったです。本当に家族がもう一つ増えたみたいです。日本の家族と離れてオーストラリアに来たときには何も思わなかったのに、ホストファミリーと別れてから、ホームシックにかかりました。だから、自分にとって、ホストファミリーと一緒に過ごした九日間がどれくらい大きくて意味のあることだったかを、改めて実感しました。

オーストラリアの人々のほとんどは、いつも笑顔を絶やしません。人々の幸せそうな笑顔をみているだけで、自分も幸せな気持ちになって、心を

広くもつことができたと思います。「広いオーストラリアへ行って、大きなものを見て、広い心をもつ。」それが私の目標だったので、達成できて良かったです。そして、今回の経験が今後の人生に役立てていければ良いなあと思います。



▲カンガルーと楽しい時間を過ごす

オーストラリアで学んだこと

広田中学校 塔下 大地

僕は、行く前まで不安がた

まず、一つは本当に今まで習ってきた英語がオーストラリアで通じるかどうか。もう一つはホストファミリーの人たちや現地の人たちとなじめることなどいろいろなことが不安でした。しかし、行ってみるとその

不安は、ふっ飛びました。現地の人々は快く僕たちを歓迎してくれました。ホストファミリーの人たちとも仲よくなりました。

しかし、今まで習ってきた英語は、あまり通じませんでした。通じなかった代わりに本場の英語というものを知り、学びました。本場の英語というものは、日本で習っているものとは全く違っていました。

もう一つ学んだものは、向こうの人の考え方や人への接し方などです。向こうの人たちは愛想よく尋ねたことに答えてくれたりします。しかし日本人たちは尋ねても心ない答えしか返ってきません。こういう向こうの人たちの温かい心や考え方などを身につけたいです。

向こうの人の考え方は、やりたいたいことややるなど自由奔放に生きています。しかし日本人の人々はやりたいことをやらずに我慢していると思います。僕は、こういう日本人にはなりたくありません。だから向こうの人たちから学んだいろいろなことを身につけていきたいです。



▶英語と格闘中

一生に一度の体験

広田中学校 井本 貴大

僕はオーストラリアに来る前に、「オーストラリアの文化と習慣を学びたい。」と決意表明のときに言った。オーストラリアに来るとアボリジニーなどのたくさんの文化や習慣を学んだ。僕が学んだのはそれだけではない。僕はオーストラリアに来る前は自分の英語が通用するか、ホストファミリーとうまく生活できるかなどたくさん不安があった。しかし、いざオーストラリアに来てみるとみんなフレンドリーでとても優しく安心した。僕の英語も、発音が悪くてもジェスチャーなどを交えると会話することができた。

オーストラリアに行ってきた

広田中学校 杭田 友希

十三日間の旅は、私にいろいろなことを学ばせてくれました。学校の修学旅行のようだと初めは、思っていました。が、今回の旅行は特別だったと思います。

初めての海外旅行。何もかもが珍しかったです。一週間のホームステイでは、英語の発音が日本とは、全く違ってましたし、学校で習ったことは、オーストラリアであんまり必要なかったと思います。ホームステイをして、単語や会話の仕方が分かりました。家族の人はすごく優しい人でした。お父さんは、本当に働き者で、家事などもせっせとしていました。お母さんはというと、航空会社で働いているので夜勤などがあり大変そうでした。六歳のやんちゃな男の子と四歳のかわいい女の子がいました。一週間という短い期間でしたが、別れる時は、本当の家族になれたような気持ちだったのでとても辛かったです。

本当にオーストラリアは

オーストラリアに来て、たくさんのすばらしい人に出会い、他ではできない体験がたくさんできた。本当にオーストラリアに来てよかったと思う。



▲ホストファミリーと記念撮影



▲現地アボリジニーの文化に触れる

オーストラリアに行ってきた

広田中学校 和田 早織

オーストラリアに行ってきた。私たちは本当にいろいろなことを学んだと思います。それは言語だけでなく、文化、

異国の動物、植物、食生活、生活スタイルの違い。あらゆるすべてのものが私にとってとても大きいものでした。まず、言語では授業やホームステイ先で学んだことがほとんどでした。授業では、ジャズ先生が英語や発音を教えてくれたり、アメリカ英語とイギリス英語の違いを教えてくださいました。中でも一番興味を持ったのが、顔の表情がすごい豊かで、嫌なことを言うときは、おもしろいほど苦い顔をするのですごく伝わりやすいと思います。ホームステイ先では、日常生活をすべて英語で話すので、頭の中に日本語がなくなるほどでした。私のホストファミリーは、お父さんが料理、洗濯、買い物すべてを任されていることに驚きました。最近の家庭はこんなのかなあと思いました。

道を歩いていても気づくことがたくさんありました。まず、公共の場などはすべて新しくきちんとしていて、とても心地よかったです。道などにゴミを出す人なんていなか



▲ホストファミリーとのさよならパーティー